

## 令和3年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程学習指導	<p>①専門性を向上させ、キャリア教育を充実させるとともに、共通教科・科目を適切に設置した教育課程を作成する。</p> <p>②商業教育の特長を明確にし、普通科との併置の特性をいかした教育活動を検討し、新校計画につなげる。</p>	<p>①組織的な授業改善をさらに推し進め、生徒が達成感を味わえる授業づくりを目指す。</p> <p>①新型コロナ感染症対策に伴う学習保障のための教材作成に関する理解を深める。</p> <p>②新校や新学習指導要領を踏まえた令和4年度以降の教育課程を充実させる。</p>	<p>①生徒同士が双方向に意見を表明できる場面づくりと、振り返りの機会を意図的につくる。</p> <p>①各教員が取り組んだ工夫を共有できるよう、教材の共有や気軽に授業見学できる仕掛けをつくりしていく。</p> <p>②両校の魅力を見直し、新校コンセプトに基づいた新たな学びの幅を広げる教育課程を検討する。</p>	<p>①生徒による授業評価で、「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた」の回答で「当てはまる」が75%以上を達成できたか。</p> <p>②G Suiteを活用した教材を共有し理解を深めた教員が60%を達成できたか。</p> <p>③令和5年度と、令和6年度の教育課程が設定できたか。</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①社会の一員として行動するための規範意識を高めるとともに、国際的な視野を養いながら社会貢献に対する意識を育む。</p> <p>②生徒一人ひとりの状況に応じた相談体制を強化するとともに、活動を通して主体的に行動できる人材を育成する。</p>	<p>①他者の感じ方や考え方を考慮した行動をとれるように指導する。</p> <p>②生徒会各委員会の活動を活発にする。</p>	<p>①生徒に自己の行動を振り返る機会を持たせる。</p> <p>②各種委員会の活動においても生徒が主体となって計画が立てられるように支援する</p>	<p>①生徒に自己の行動を振り返る機会を持たせる。</p> <p>②各種委員会の活動においても生徒が主体となって計画が立てられるように支援する</p>	<p>①生活アンケートで、他者の感じ方や考え方を考慮した行動をとれるとの回答が60%以上であったか。</p> <p>②生徒が自ら考えて活動することができたか。</p>	<p>①生徒が自ら考えて活動することができたか。</p> <p>②生徒が主体的に活動できる支援を行えたか。</p> <p>③部活動発表の場と機会を増やし、未加入者が体験する機会を増やす。</p>			
3	進路指導・支援	<p>①社会的・職業的に自立させ、即戦力として社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>②企業から信頼される実績を積み上げるとともに、進学指導の充実を図る。</p>	<p>①職業理解・上級学校理解を早い時期から進め、進路意識を高める。</p> <p>②分野別ガイダンスを充実させ、コロナ禍の中でも可能性を追求し、生徒の個々に応じた適切な進路指導を展開する。</p>	<p>①年間を通した計画的な進路面談、ガイダンス、見学会等を行う。</p> <p>②外部機関や企業、上級学校対応を充実させ、最新の進路情報を生徒、学年に伝えらえるよう努める。</p>	<p>①生徒の進路意識がガイダンスや面談を通して高まったかをアンケートにて確認する。</p> <p>②卒業時点での進路未決定の生徒数の変化、1学期における学習成績の状況等を分析する。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①地域に開かれ、地域と共にある学校を実現する。</p> <p>②地域連携部会の意見を取り入れ、実現可能な取組についてスピード感をもつて充実させる。</p>	<p>①広報PR活動及び実践的な教育活動等を通じ、専門高校としての魅力と特色を積極的に伝え、地域により深く理解してもらう。</p> <p>②コロナ禍を踏まえた地域交流活動及びPTA活動を推進し、関係諸機関との連携により地域に開かれた学校づくりを行う。</p> <p>③地域と連携して生徒の安全で安心な生活を維持する。</p>	<p>①前年度の検証を踏まえた広報計画を立案し、対象と内容を明確化した広報活動を実施する。</p> <p>①中学校等訪問、説明会、個別相談会等について、中学生の進路選択時期、社会情勢及び校内事情を踏まえ、計画的・効果的に実施する。</p> <p>②出前講座、PTA活動、外部講師活用、チャレンジショップ委員の活動回数が前年以上となったか。</p> <p>②外部講師や実習等を実施し、地域の教育力を本校に提供してもらう。</p> <p>②防災体制を構築するとともに、DIG、避難訓練等に生徒を積極的に参加させる。</p>	<p>①前年データおよび新入生アンケートの評価内容を活用した広報計画を実施できたか。</p> <p>①入学者選抜倍率が1.1倍以上、説明会等実績が保護者中学生共に前年を上回り、参加者から評価を得たか。</p> <p>②感染状況に対応した活動ができたか。</p> <p>②アンケート等により生徒の防災意識の高まりを読み取ることができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①安全で安心な信頼される学校を維持する。</p> <p>②不祥事防止を徹底し、信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p>	<p>①校内の施設・設備を点検し必要な備品・物品を整理し環境整備を行う。</p> <p>②事故不祥事防止を徹底し、教職員の実践的指導力を向上させる。</p>	<p>①仮設校舎の移転に伴い必要・不要な備品・物品を選別し順次、移動を行う。</p> <p>②日常的な啓発活動や研修会等を通じて、不祥事防止に向けた意識の醸成を図る。</p>	<p>①必要な物品・備品を仮設校舎へ移動し不要な物品・備品を廃棄することができたか。</p> <p>②日常的な啓発活動や研修会等を通じて、不祥事防止を徹底できたか。</p>					